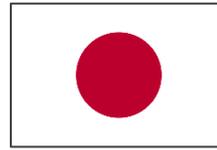




Zikomo !!



Vol.2 2014年10月発行

東大和市の皆様 Muli Bwanji（こんにちは）！狭山出身の橋本裕保（はしもとゆうほ）と申します。

早いもので、マラウイに来てから丸一年が経とうとしています。現地語もまだまだ不十分で、思うように活動が進まないことばかりですが、めげずに頑張っています。

『Zikomo！！』の第一号では、マラウイの一般情報についてご紹介しました。第二号ではマラウイの村の様子や、村人達の生活についてご紹介します！



■マラウイの村の様子■



村の風景、目印があまりないので、道を覚えるのが大変です！

マラウイは、意外にも緑がそれほど多くありません。村に行ってみると見える風景は、赤茶色の地面、レンガ造りの家々、ポツポツと生えている木々、ゴツゴツした岩肌がむき出しになった山などです。高い建物が全くないので、地平線まで見渡せます（夕日が沈みゆく景色はとても美しいです！）。

お金持ちの村人の家は屋根がアイロンシート（鉄板）で、そうでない家はワラでできています。多くの家庭には電気が通っておらず（冷

蔵庫もテレビもありません！）、日が暮れると何も見えなくなりますが、星はとてもきれいに見えます！多くの家庭では家畜を飼っていて、一般的なのが鶏や犬。お金持ちになるとヤギや豚、牛などを飼っています。鶏やヤギや豚は放し飼いにされていて、至る所で見かけます。

長いことマラウイにいと、鶏や豚を「美味しそう！」とか、「もう少し太らせた方が良くないな・・・」といった目で見えるようになります（笑）。



時々、散歩中の牛に囲まれます

■マラウイの村人の生活■

電気がないため、日が沈んだら寝て、日が昇ったら起きるという生活です。話を聞いてみると、早い人で朝4時、大体の人は5時くらいには起きて畑仕事をしたり水汲みをします。夜は、8時くらいには寝る人が多いようです。

水汲みや洗濯、食事の準備は女性の仕事で、男性は畑仕事をしたり、ピースワーク（臨時のアルバイトみたいなもの）をして、生活費を稼いでいます。その他、大きな池がある村では数カ月一回漁をして魚をみんなでワイワイしながら獲ります。獲った魚は参加者で分配し、家の食事に出したり、近くのマーケットで売って生活の足しにしています。



魚を獲った後にカメラを向けると、嬉しそうな顔を見せてくれました！

メイズ（とうもろこし）が十分に収穫できなかつたり、肥料を買うお金がないと嘆いている彼らですが、日本人よりもよっぽど幸せそうに見えることもあります。

■マラウイの主食 『シマ』 ■

マラウイの主食は『シマ』です。メイズ（とうもろこし）を粉末状にしたものをお湯に溶かし、よく混ぜながら固めたもので、手でちぎって、こねて食べます。シマだけでは味があまりないので、牛や鶏の肉、野菜と一緒に食べます。



シマを作る村のお母さん



レストラン出るシマ

シマは作り手によって味が違って、作り次第でパサパサして美味しくないものや、程よい水分でもっちりした美味しいものにもなります。初めは全然美味しく感じなかったのですが、毎日食べていると不思議と美味しく思えてきます。特に、村で食べるシマはいつも以上に美味しく感じます！



村ではシマをご馳走してくれます

レストランでシマを注文すると、シマとチキンと野菜のセットが大体 700 クワチャ（約 175 円）で食べられます。コーラやファンタを飲みながら食べます。

お米は村人にとって高級なもので、クリスマスやその他お祝い事がある時のみ食べます。私は、昼食はシマ、夕食は米を食べていますが、マラウイの米もなかなか美味しいです！

■ブログの紹介、連絡先など■



第二号はいかがでしたか？ご感想、ご意見、ご質問などは下記までご連絡ください！
今後もよろしくお願いいたします。

橋本 裕保（はしもと ゆうほ）

メール：yuho.hashimoto3@gmail.com

★ブログを書いています！！

『とべ、UFO！ ゆうほの協力隊ブログ』

<http://tobe-ufo.com/>

（『とべ UFO！』で検索！！）

「ひがしやまとのこくさいこうりゅう」は、東大和市公式ホームページにも掲載しています。

公式ホームページでは、写真を綺麗に見ていただけますので、ぜひご覧ください。

【東大和市公式ホームページ】 <http://www.city.higashiyamato.lg.jp/>

トップページ > 暮らしの情報 > 国際交流 > 「ひがしやまとのこくさいこうりゅう」を配布しています

がいこくじん にほんごがくしゅうきょうしつ

【ご案内】 外国人のための日本語学習教室

東大和市内には、ボランティアグループによる外国人のための日本語学習教室が3つあります。

曜日や場所など、ご都合の良い開催日に直接教室へお越しください。

にほんご かい

①日本語の会

ようび じかん 曜日と時間	まいしゅうもくようび ごぜん じ じ 毎週木曜日 午前10時～12時
ば し よ 場 所	なんがいこうみんかん ごうしつ ひがしやまとしなんがい 南街公民館204号室 東大和市南街5-32
か い ひ 会 費	1か げつ 200 えん 月 200円
れんらくさき 連絡先	にほんご かい はまの たかし 日本語の会 浜野 駿 ☎042-564-6277

とも かい

②にほんご友の会

ようび じかん 曜日と時間	まいしゅうどようび ごご じ ぶん じ ぶん 毎週土曜日 午後1時30分～3時30分
ば し よ 場 所	ちゅうおうとしよかん かい しちょうかくしつ ひがしやまとしちゅうおう 中央図書館2階 視聴覚室 東大和市中 央 3-930
か い ひ 会 費	1か げつ 200 えん 月 200円
れんらくさき 連絡先	にほんごとも かい よした とおる にほんご友の会 吉田 徹 ☎042-564-1300

にほんご

③あつまれ日本語ひろば

ようび じかん 曜日と時間	まいしゅうかようび ごご じ ぶん 毎週火曜日 午後2時～3時30分 まいしゅうきんようび ごぜん じ ぶん 毎週金曜日 午前10時～11時30分
ば し よ 場 所	さくらがおかしみんせんたー ひがしやまとし 桜が丘市民センター 東大和市桜が丘3-44-13
か い ひ 会 費	1か げつ 200 えん 月 200円
れんらくさき 連絡先	あつまれ日本語ひろば 西山 清 ☎090-6707-5997

編集・発行 東大和市 子ども生活部 市民生活課 市民協働係
東大和市中 央 3丁目930番地
電話 042-563-2111 内線1711
印刷 東大和市 総務部 文書課 印刷室



(再生紙を使用しています)